

# 2009年3月期 第2四半期 決算説明会

## 蛇の目マシン工業株式会社 2008年11月4日

### 将来予想に関する注意事項

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

そのため、今後、市況や為替レートの変動などを含む様々な要因により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

# 連結決算概要

2009年3月期 第2四半期累計期間  
(2008年4月1日～2008年9月30日)

## 業績の概要

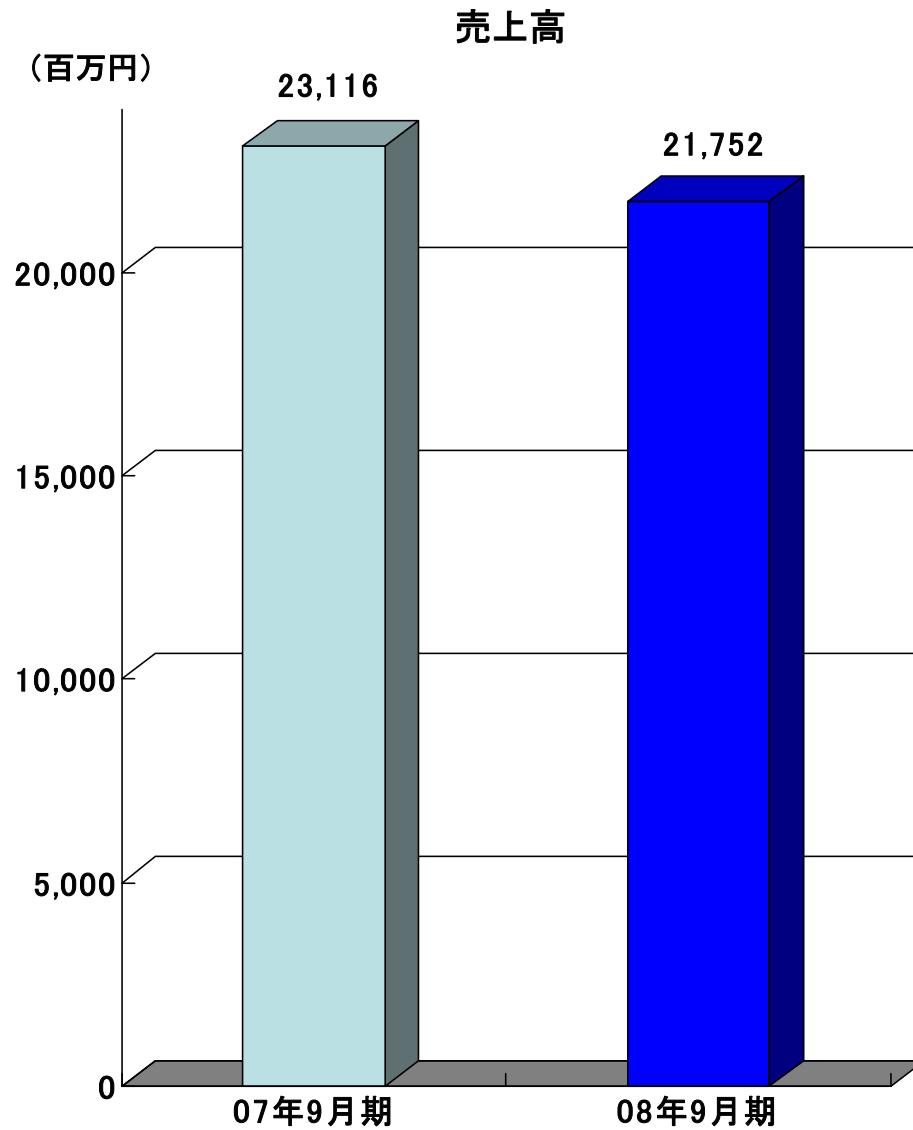


(百万円)

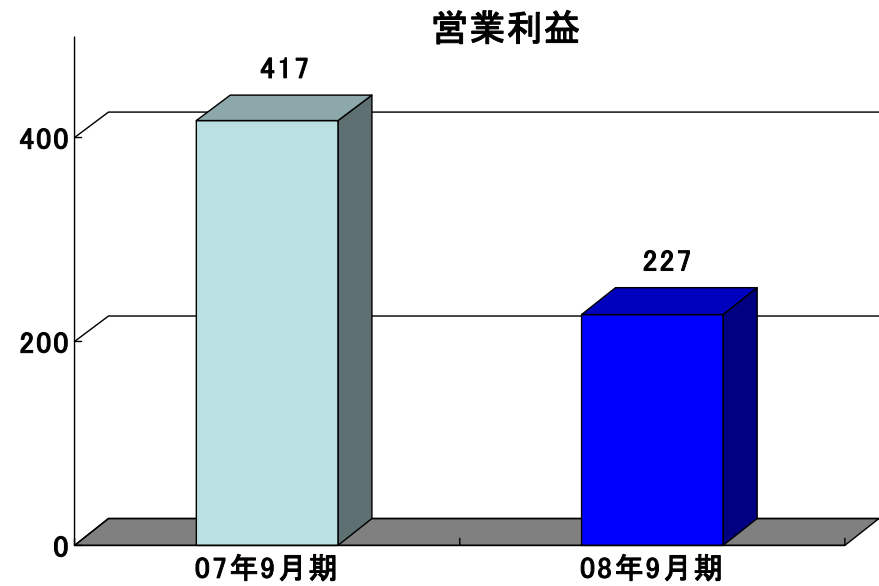
	2007年9月期 実績	2008年9月期 実績	増減 (前期比)
売上高	23,116	21,752	▲ 1,363
営業利益	417	227	▲ 190
[営業利益率]	1.8%	1.0%	▲ 0.8%
経常利益	306	166	▲ 140
[経常利益率]	1.3%	0.8%	▲ 0.6%
四半期純利益	▲ 355	▲ 551	▲ 195
為替レート (円/US\$)	119.32	106.12	▲ 13.20

\* 為替レートは期中平均レートを使用。

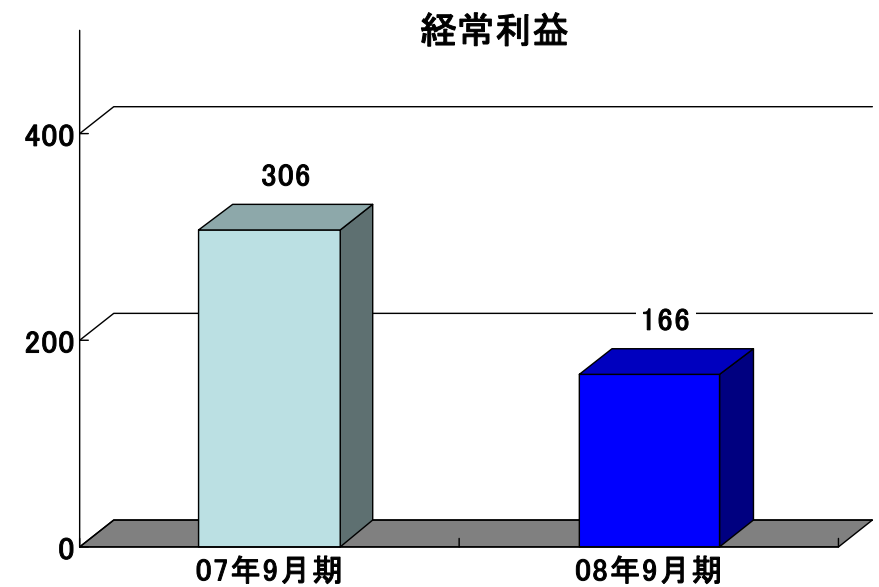
## 業績(前年同期比)



(百万円)



(百万円)



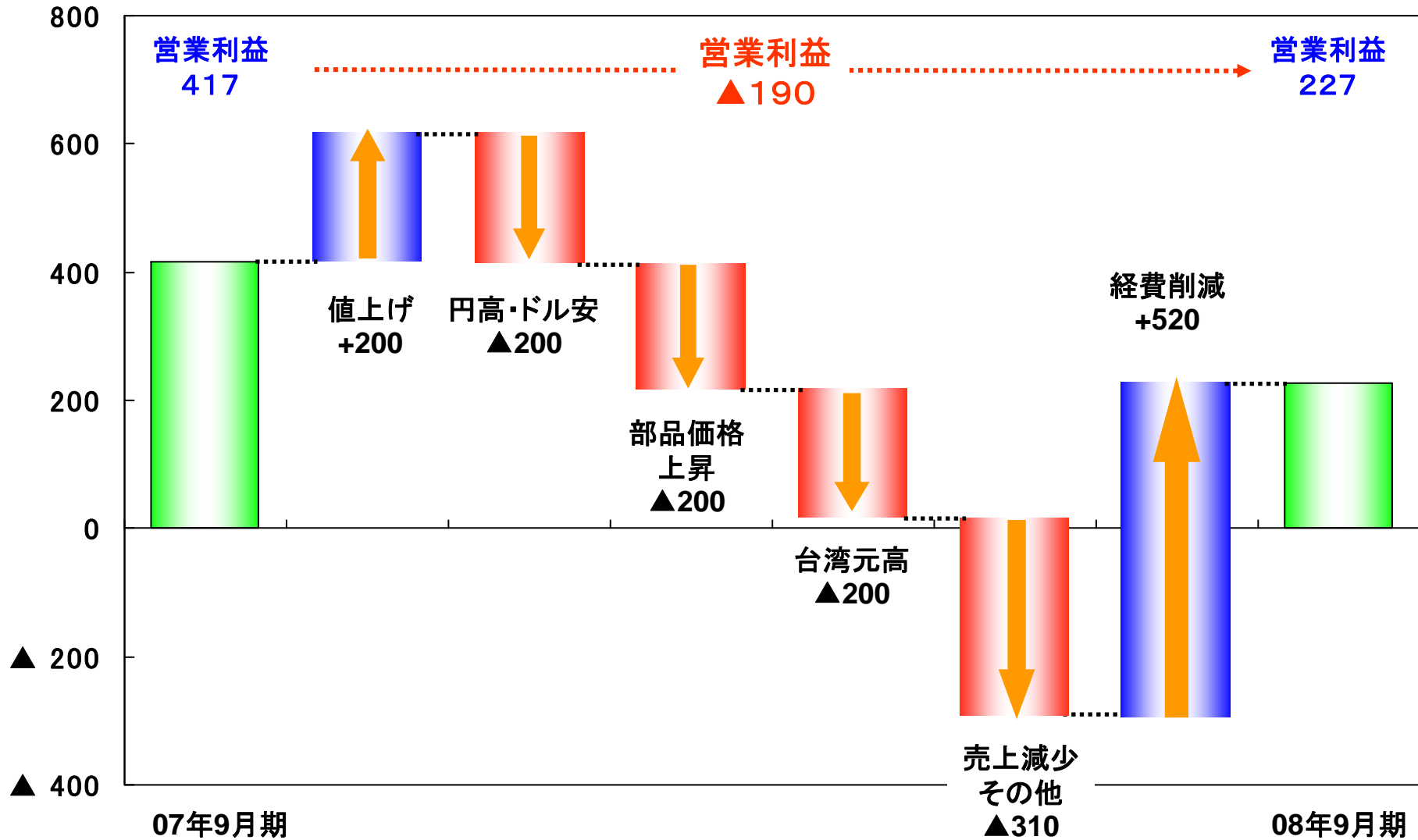
## 収益減少の要因

- ① 米国に端を発した金融危機に起因する世界的景気の減速懸念
  - a. 消費者の消費意欲減退の影響(ミシン事業)
  - b. 企業の設備投資抑制の動き(産業機器事業)
- ② 円高・ドル安の影響による利益の減少  
(前期:119.32円⇒今期:106.12円 前期比11%円高)
- ③ 今期に入り、部品価格が一段と上昇したことによる原価アップ
- ④ 主力工場のある台湾の通貨が元高に推移したことによる原価アップ  
(前期:1US\$ = 33.01元 今期:1US\$ = 30.78元 前期比7%元高)
- ⑤ 株式相場の急落により投資有価証券の評価損を計上

\* 為替レートは全て期中平均レートを使用。

# 営業利益減少の内訳(前年同期比)

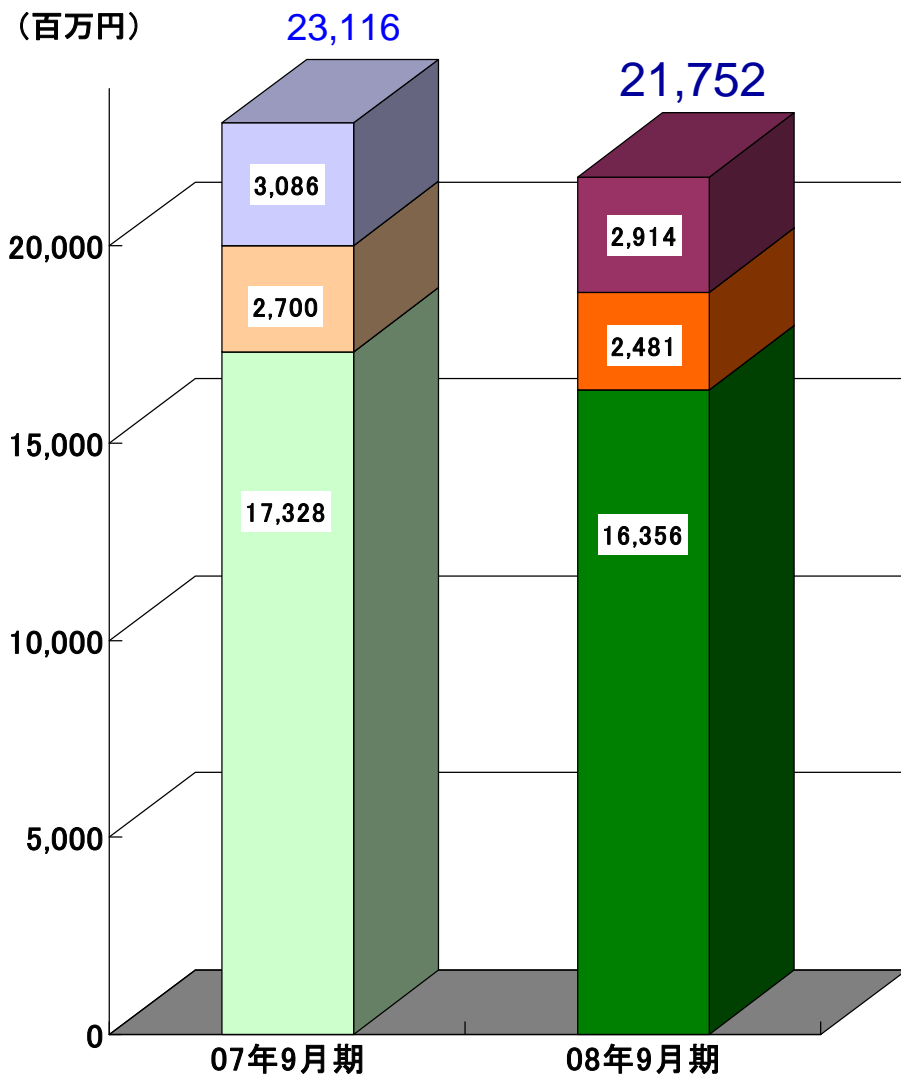
(百万円)



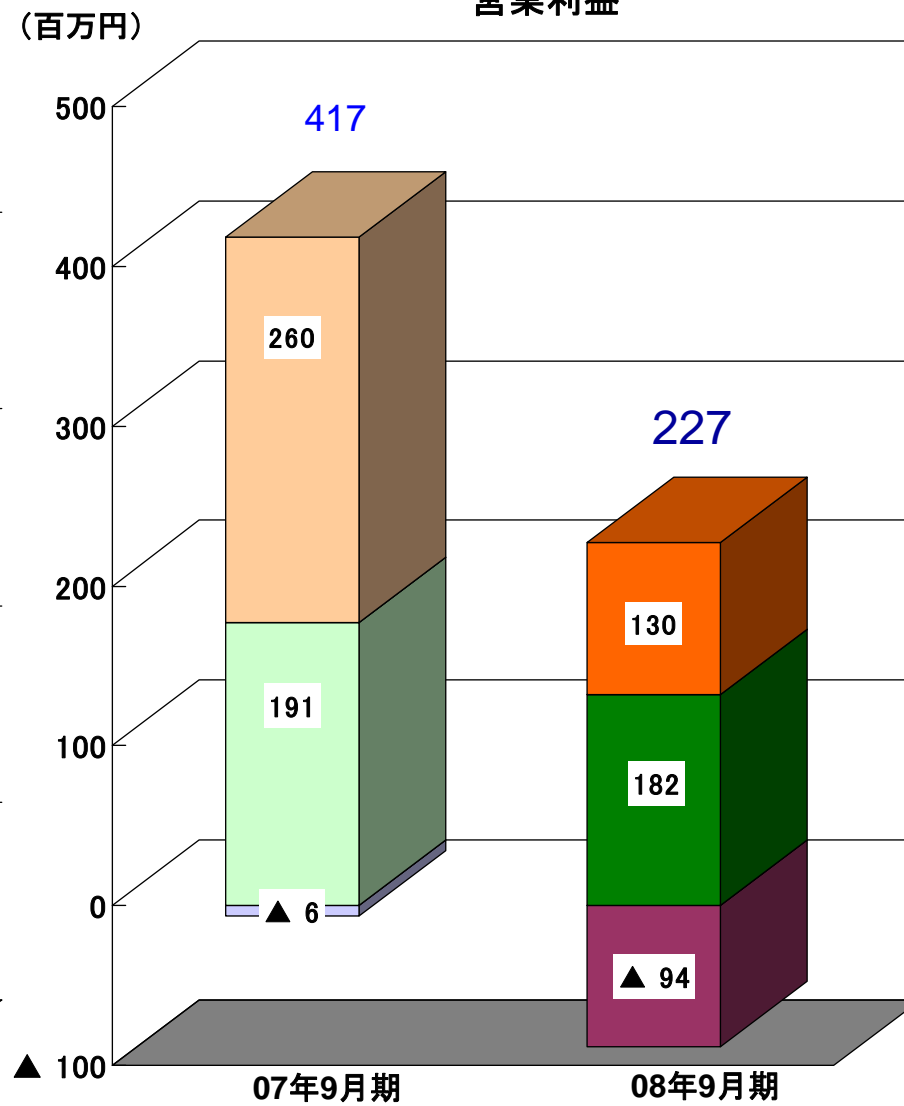
# セグメント別業績



売上高



営業利益

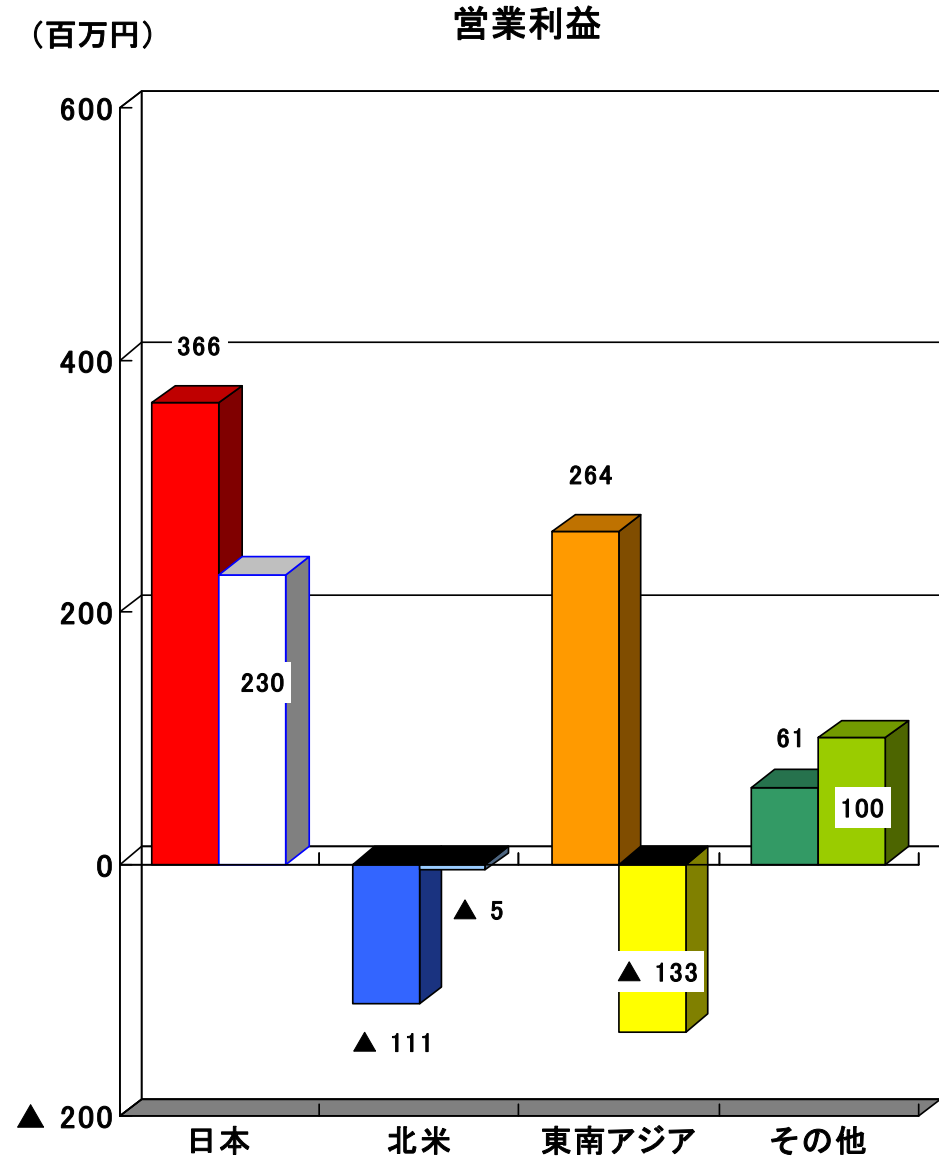
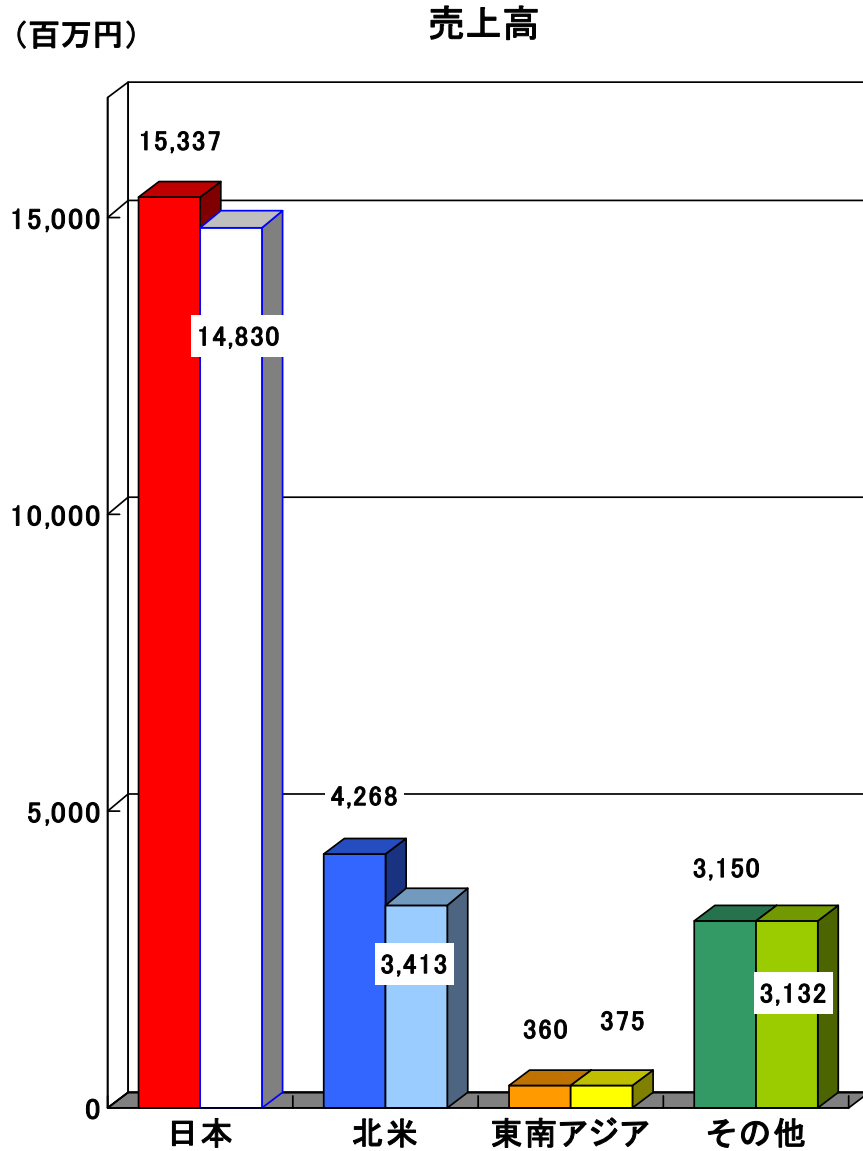


## 所在地別の業績

2007年9月期  



 2008年9月期

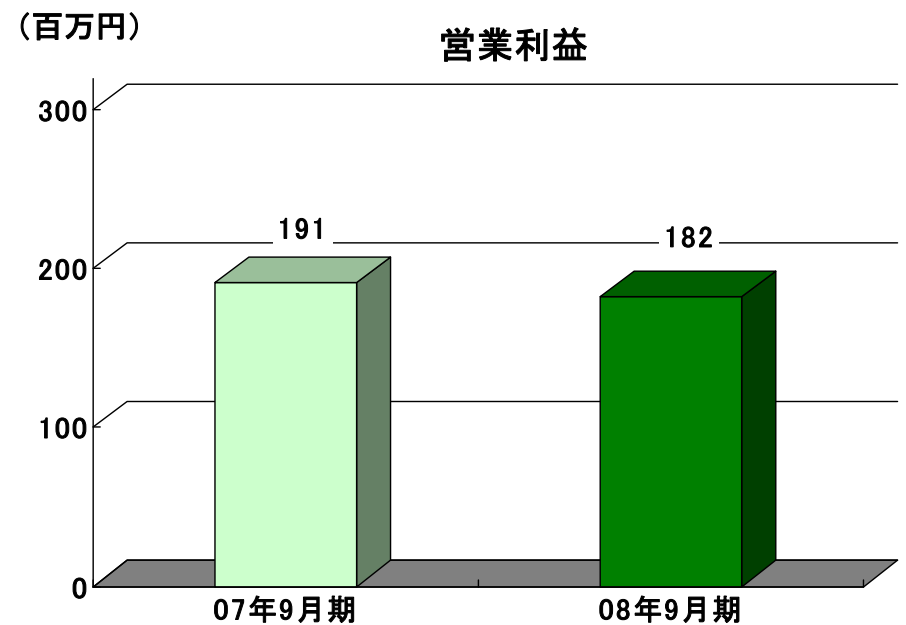
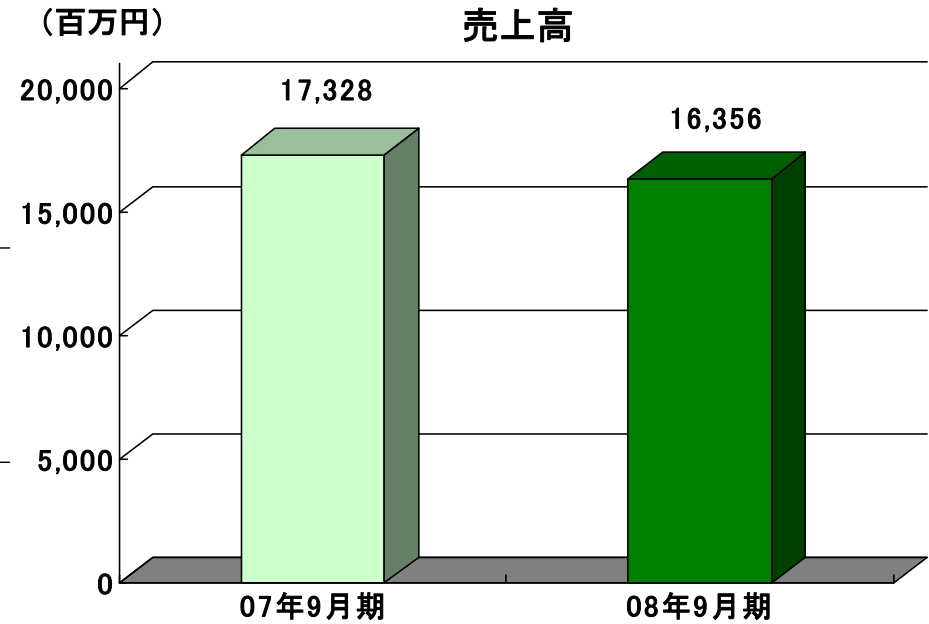
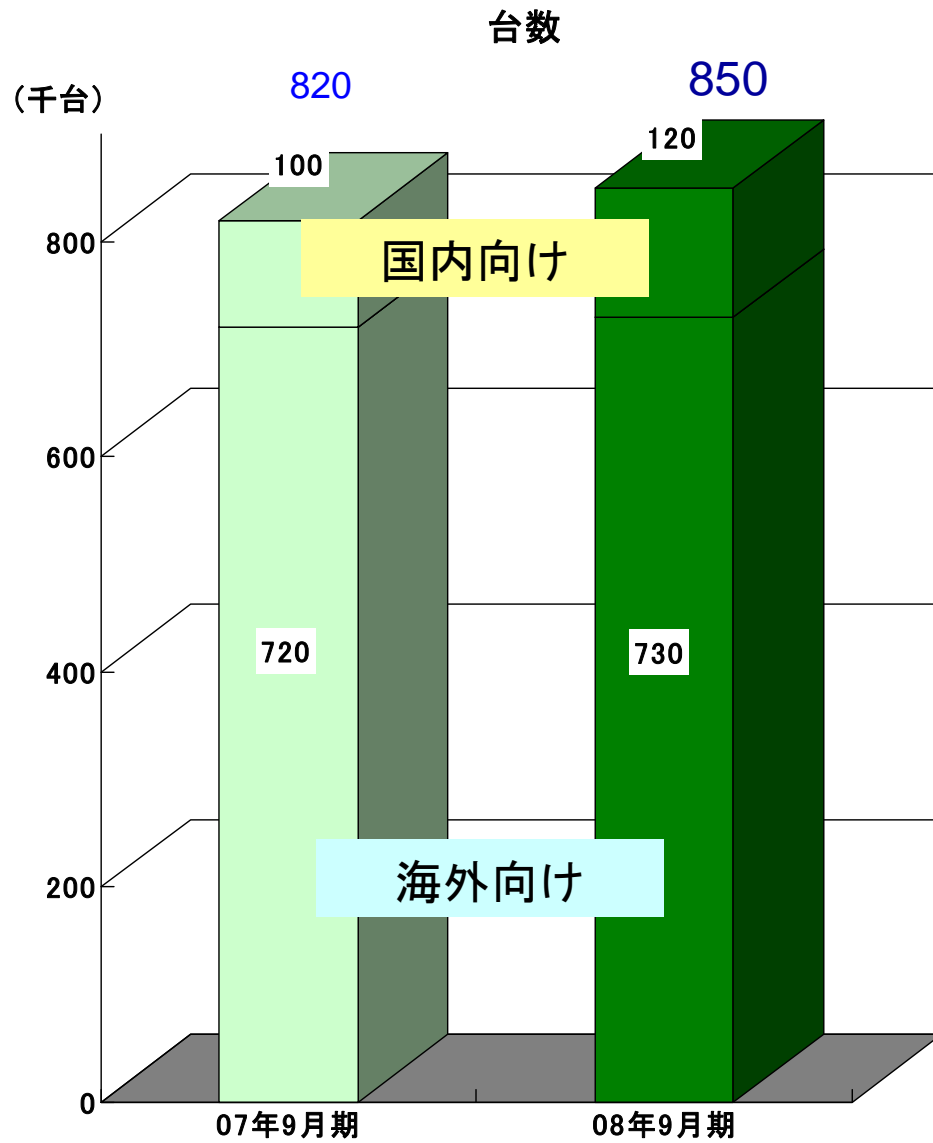




## ミシン関連事業の概要

- 円高・ドル安の影響により前期比売上高減。
- 前期からの懸案であった原材料価格上昇分の価格転嫁を実行、その成果を挙げたものの、今期に入り、部品価格がより一段と上昇した。
- ミシン販売台数は増加したが、その台数増の主要因となった新興国市場での販売拡大は低価格機種の高比率が高かったため、平均単価が下落。  
前期:82万台(国内:10万台・海外72万台)⇒今期:85万台(国内12万台・海外73万台)
- 生産の主力工場のある台湾通貨が台湾元高で推移したことにより、原価上昇。

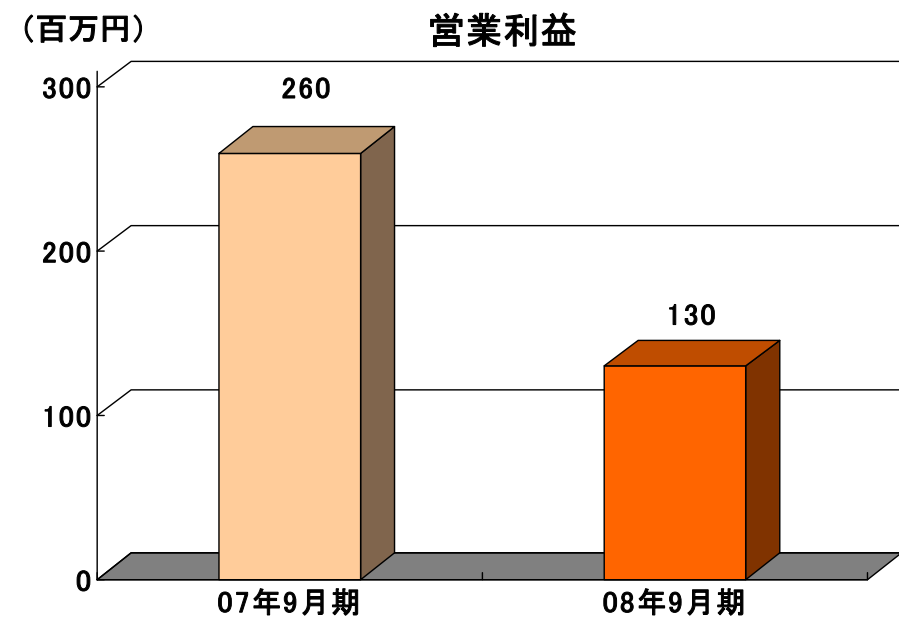
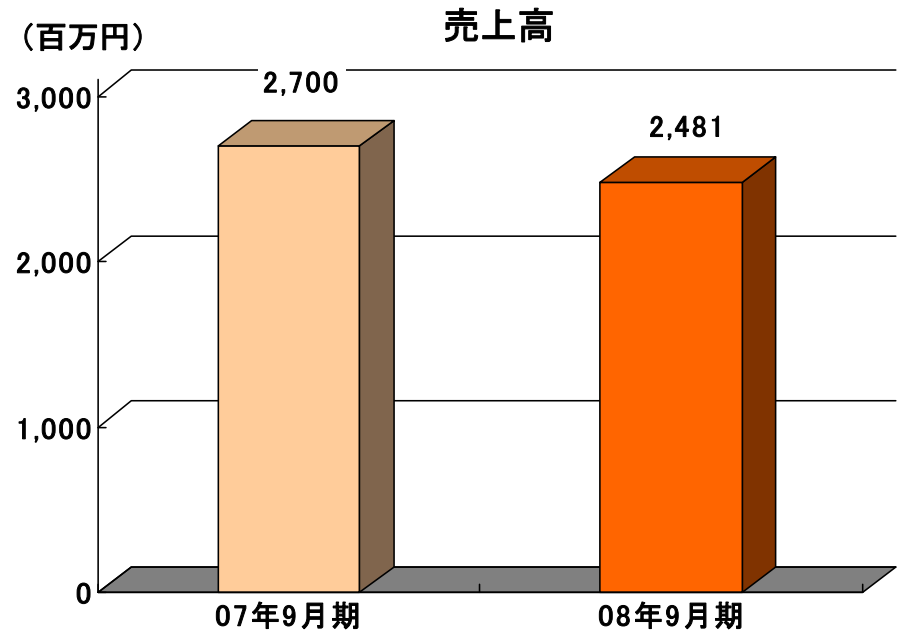
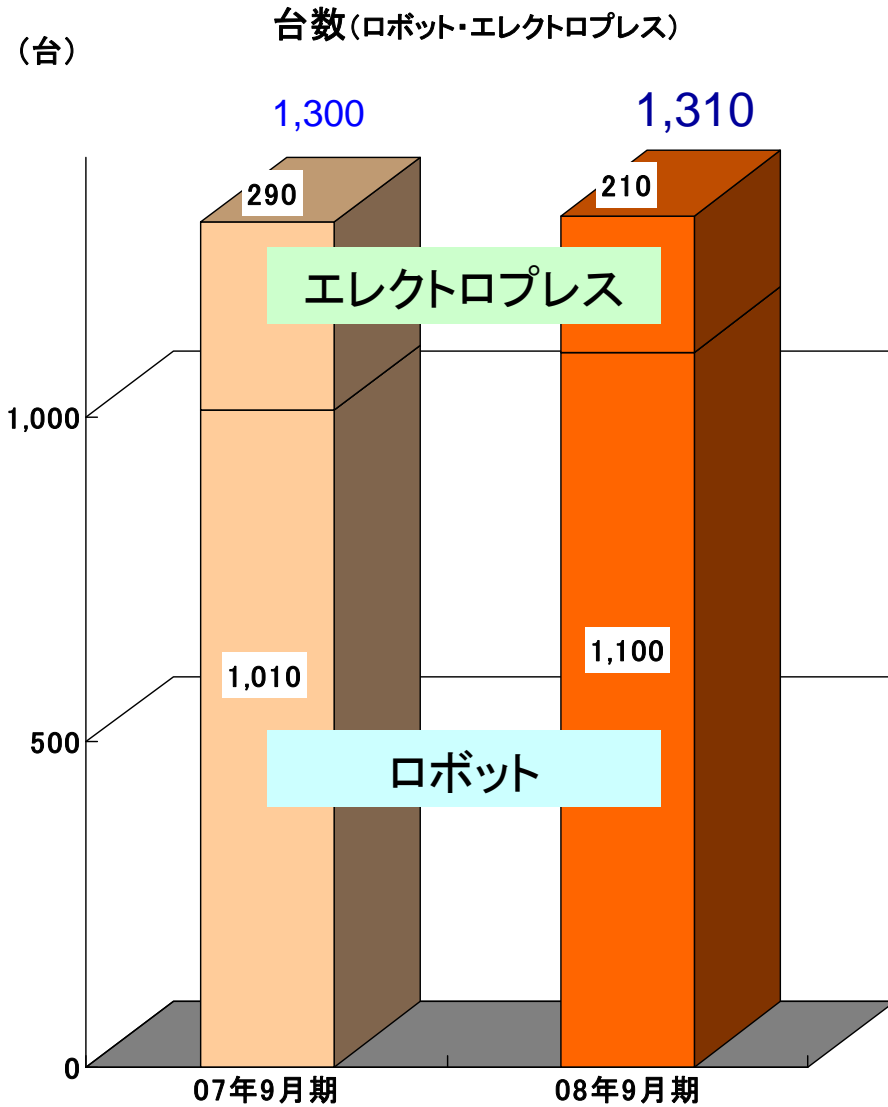
# マシン関連事業の業績



## 産業機器事業の概要

- 国内外におけるサービス・営業拠点の拡充に加え、本年2月のSMS社からの卓上ロボット事業の譲受を行い、製品ラインアップの充実と販売先の拡大を図った。
- 原材料価格上昇下で、企業の製造コスト削減に向けての生産効率アップのための有用な製品である卓上ロボットは台数増。
- 自動車関連業界の設備投資抑制の動きにより、エレクトロプレス販売は苦戦。
- ダイカスト鑄造事業については、自動車関連企業からの受注減等により苦戦。

# 産業機器事業の業績



## トピックス

### 〔ミシン事業〕

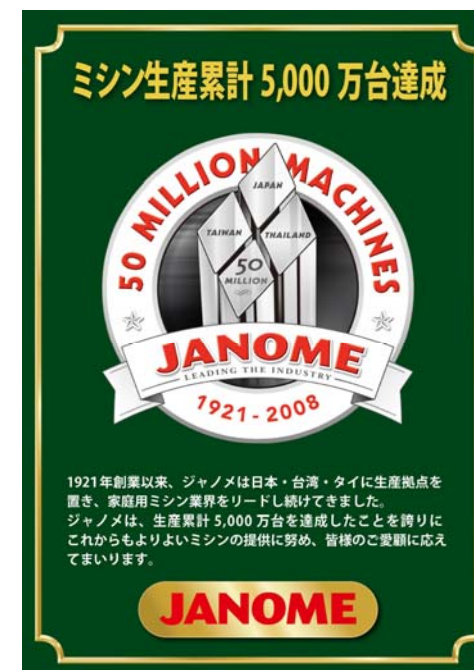
- ミシン生産累計台数 5,000万台突破  
(2008年7月22日)
- ジャノメ台湾創立40周年  
ジャノメ タイランド創立20周年

### 〔産業機器事業〕

- サービス・営業の拠点として、  
JIE-EUROPE(4月)設立  
福岡営業所(6月)開設

福岡営業所(『J'sビル飯塚』・福岡県)

# JANOME



# 2009年3月期 通期業績見通し

## 下期方針

- ① 収益面での確実な効果の期待できる経費の徹底した削減
- ② 主力工場であるジャノメ台湾を始めとする生産部門において更なる生産性の向上を図る。

## 通期業績計画



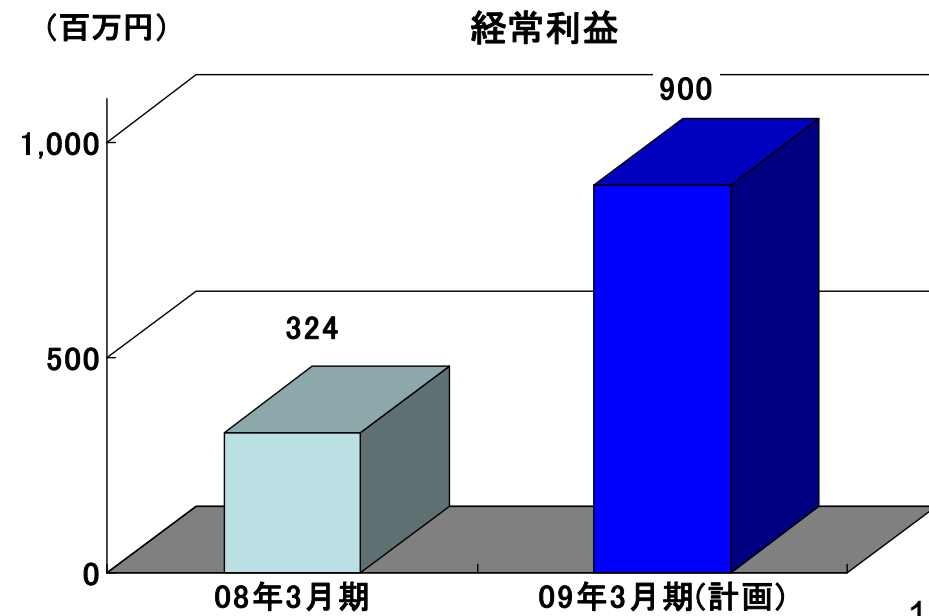
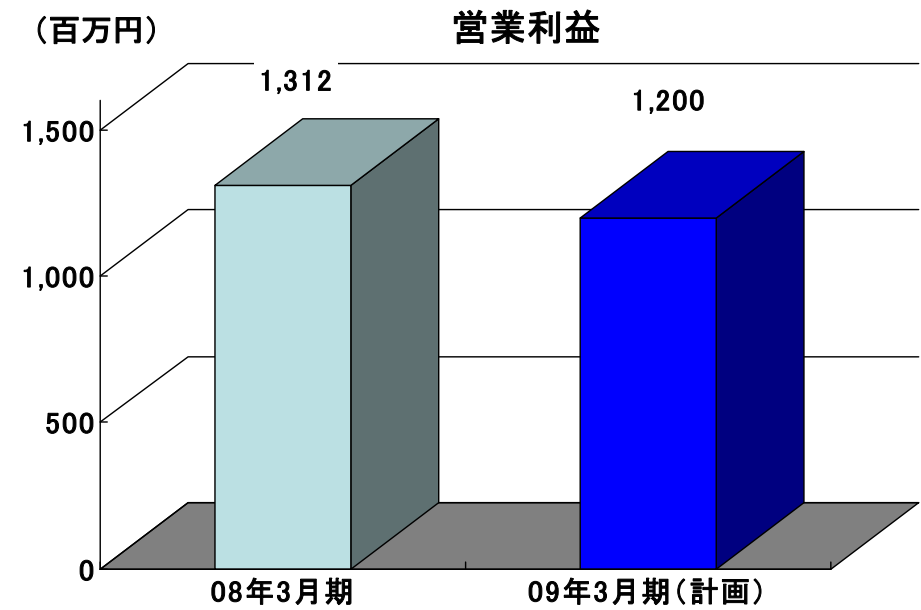
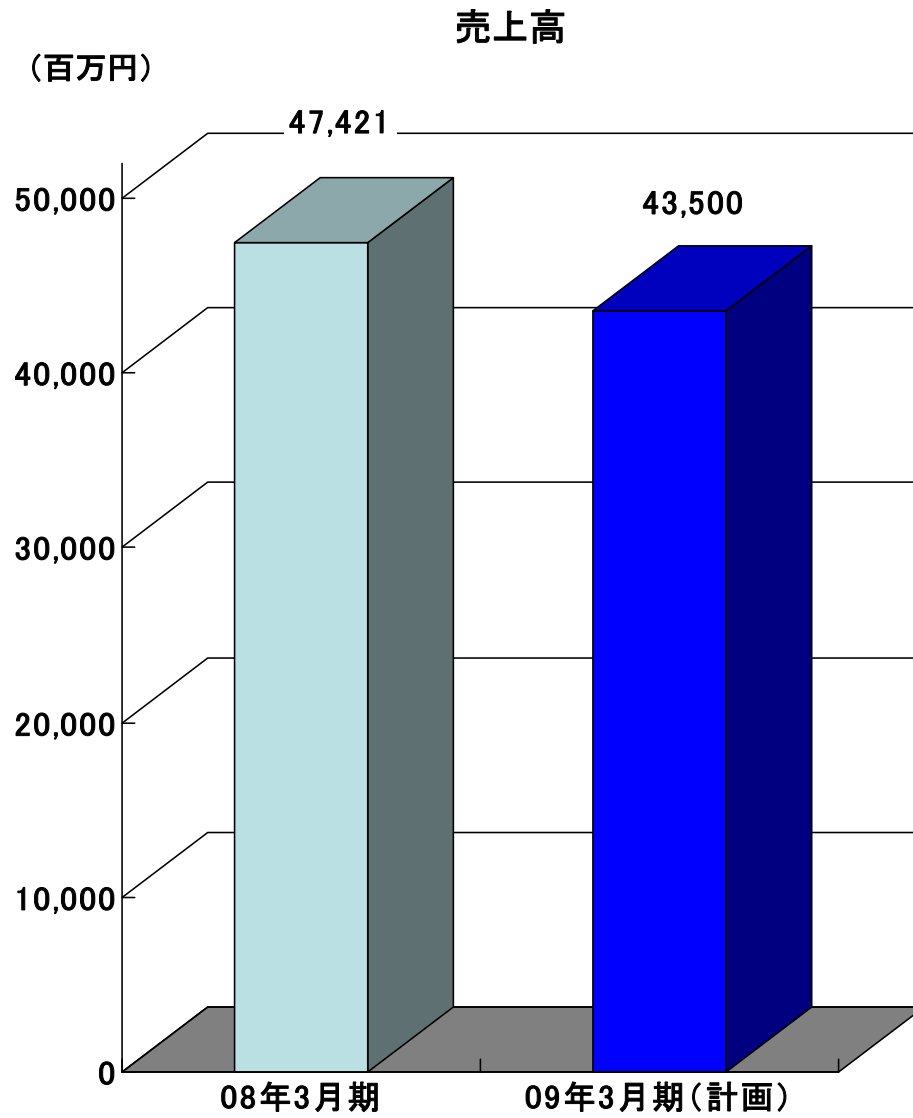
(百万円)

	2008年3月期 実績	2009年3月期 計画	増減 (前期比)
売上高	47,421	43,500	▲ 3,921
営業利益 〔営業利益率〕	1,312 2.8%	1,200 2.8%	▲ 112 0.0%
経常利益 〔経常利益率〕	324 0.7%	900 2.1%	576 1.4%
当期純利益	▲ 1,207	100	1,307
為替レート (円/US\$)	114.43	104.84	▲9.59

\* 計画の下期為替レートは2008年9月末レート(103.57円)を使用。



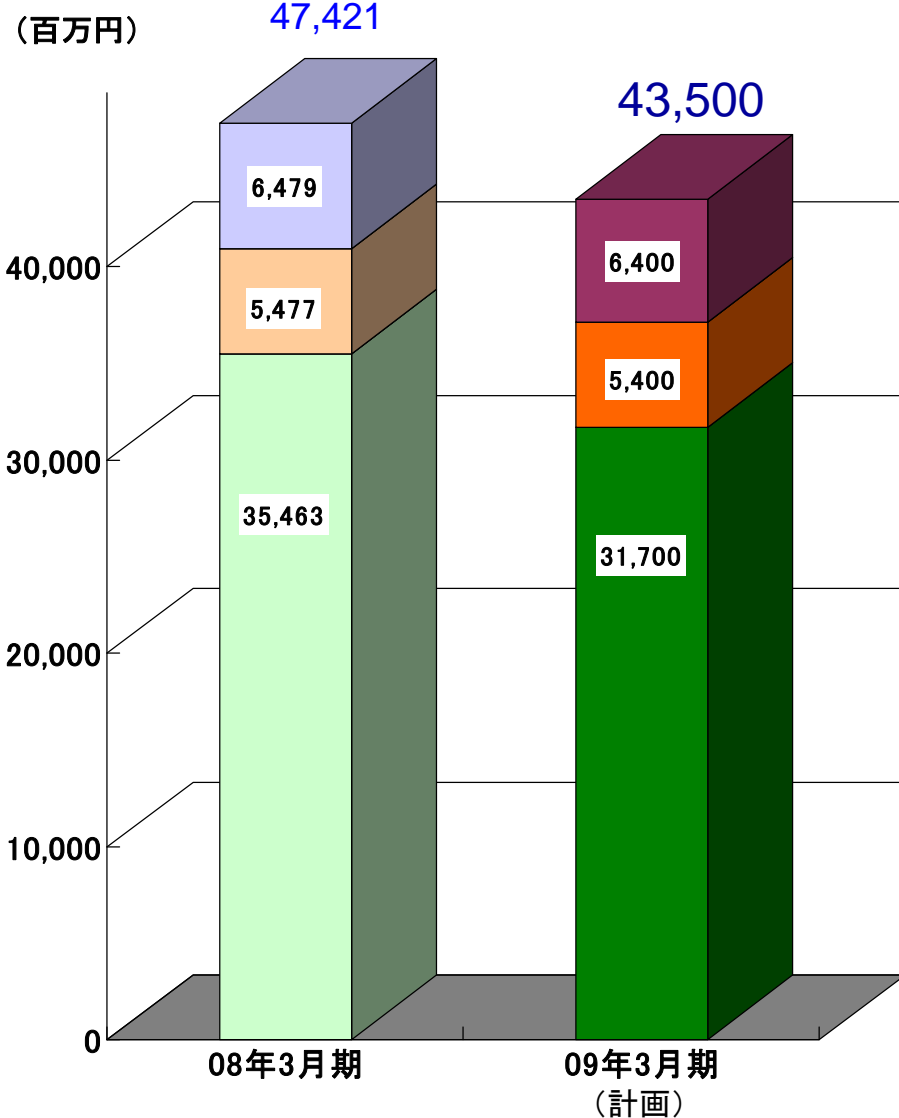
## 通期業績計画(グラフ)



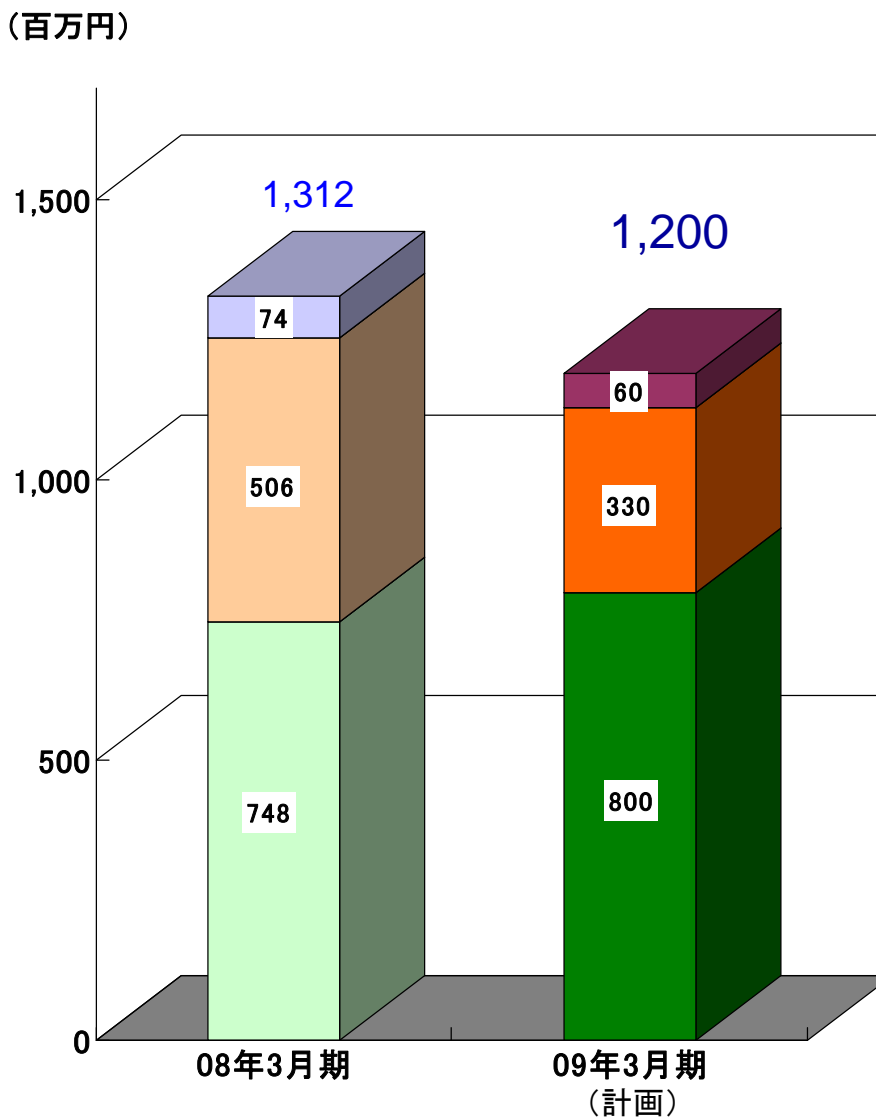
# セグメント別業績計画



売上高



営業利益



## ミシン関連事業の施策

- 世界的景気低迷が想定される中、関連会社も含めた、ジャノメグループ  
全社で、経費の徹底した削減を行い、ローコスト・オペレーションの追求に  
よる利益確保
- 〔海外〕  
新機種の継続的市場投入による需要喚起  
世界的不況と言えども、販売拡大が見込まれる市場での積極的営業活動
- 〔国内〕  
国内市場において、市場動向の変化に合わせた支店の統合により、販売  
効率・収益の改善  
手芸量販店を通じての販売拡大
- メイン工場であるジャノメ台湾の更なる生産性向上によるコストの低減

## 主な新機種の投入

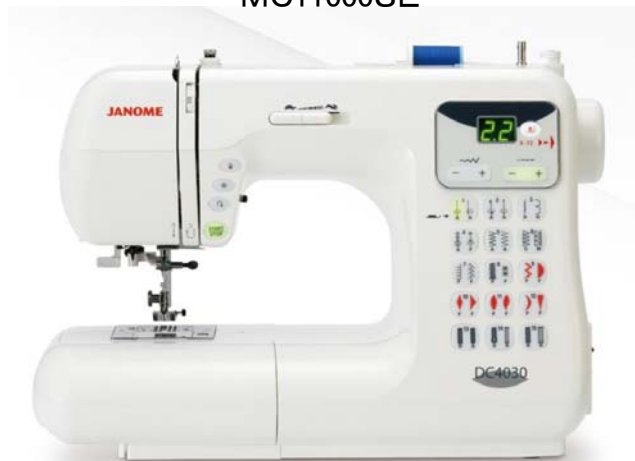
# JANOME



MC1100SE



MC5200

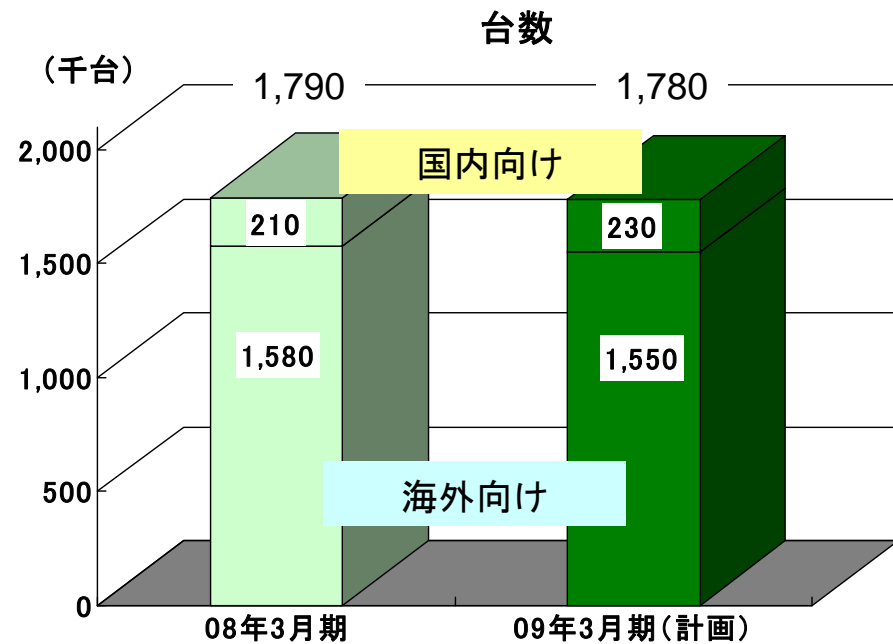
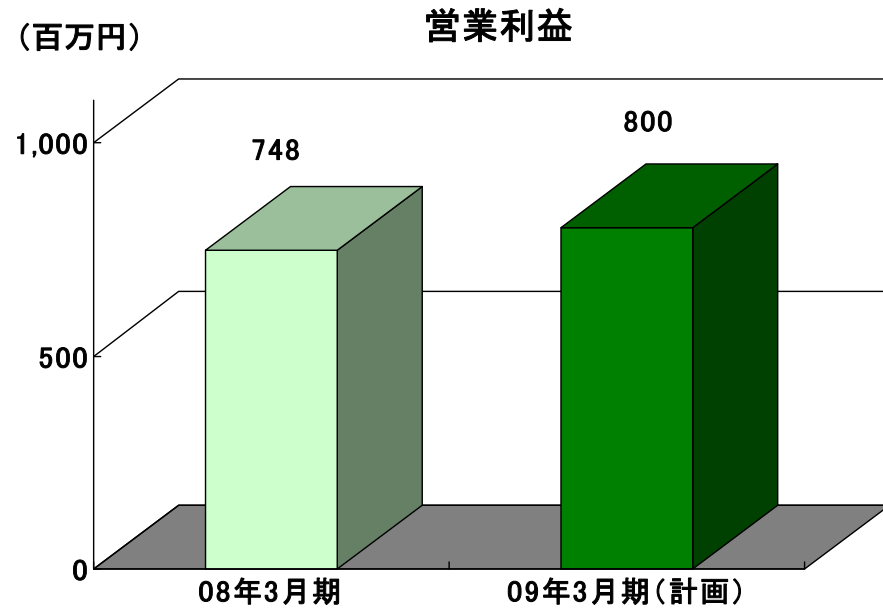
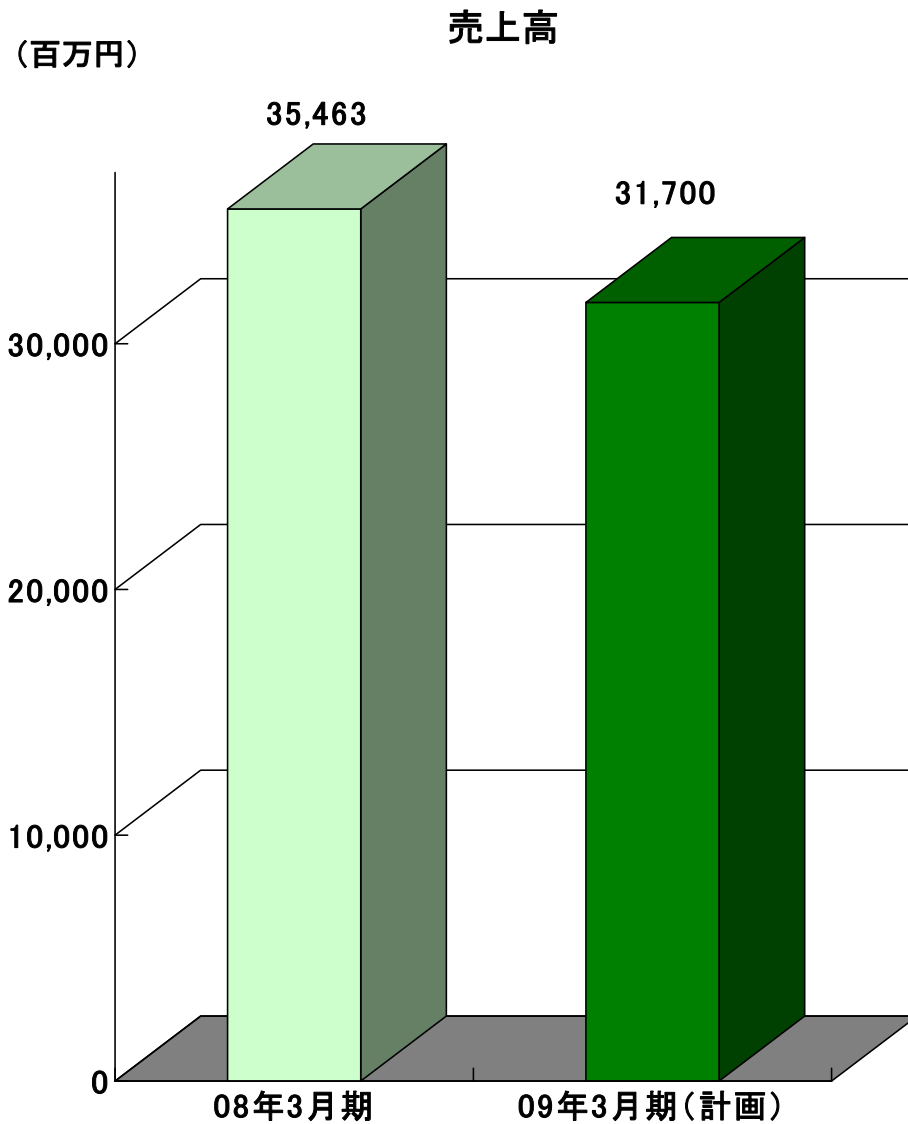


DC4030



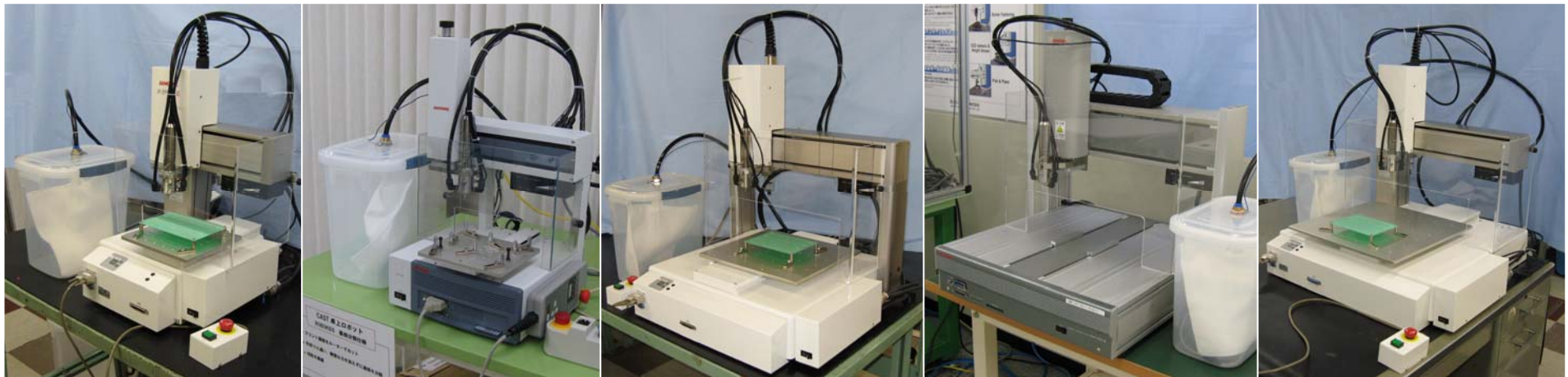
MY STYLE 100

# マシン関連事業の業績計画



## 産業機器事業の施策

- 原材料価格の高値推移状況下で、コスト削減のための有効な製品である卓上ロボットの拡販。
- SMS社の卓上ロボット事業譲受により拡大した販売網を有効活用して、当社産業機器製品の浸透を図る。
- 国内外におけるサービス・営業拠点の本格稼動による新規開拓。
- 台湾、タイの既存拠点を活用して、アジア地域での産業機器事業のサービス・販売の強化を図る。
- 卓上ロボット製品ラインアップの整備とアプリケーションの充実。



JR2203NERT

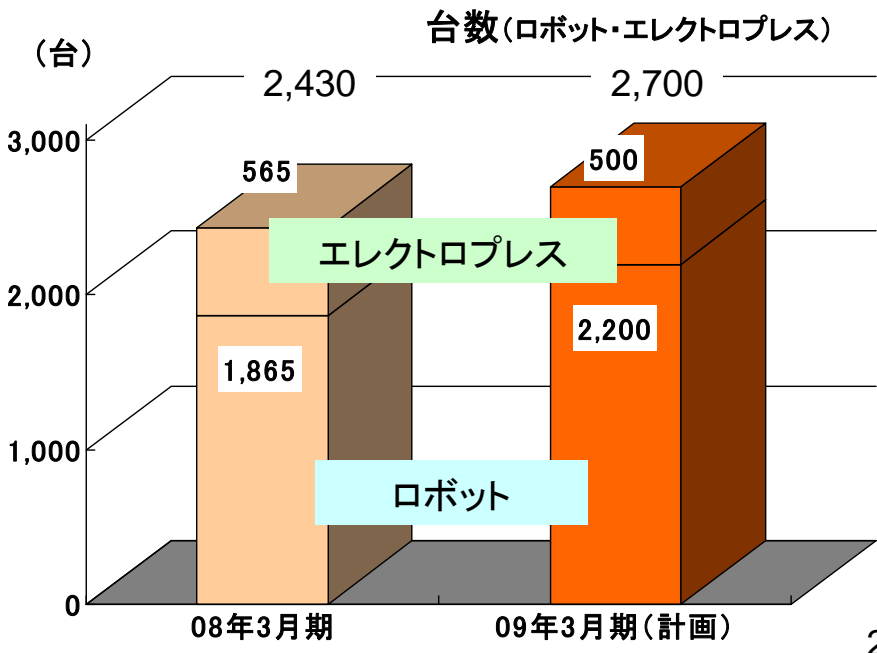
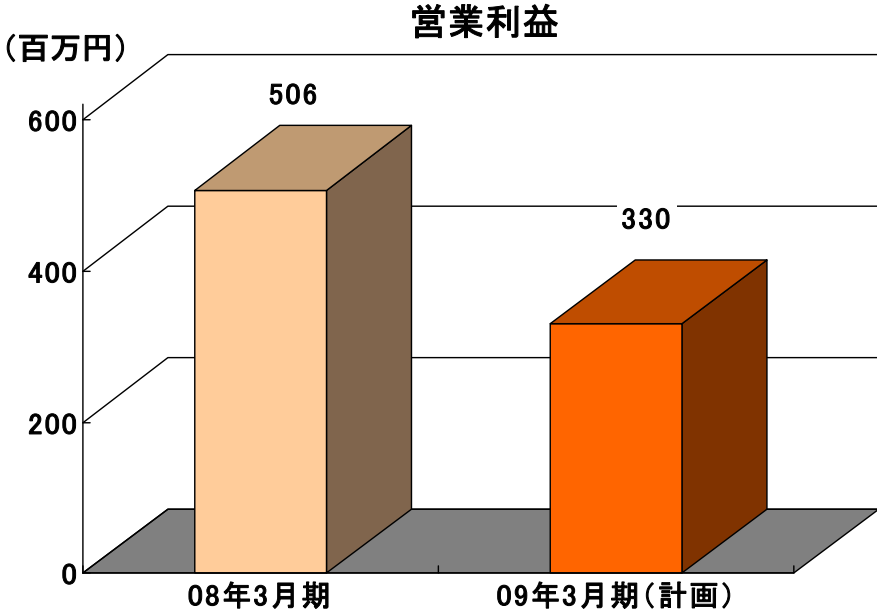
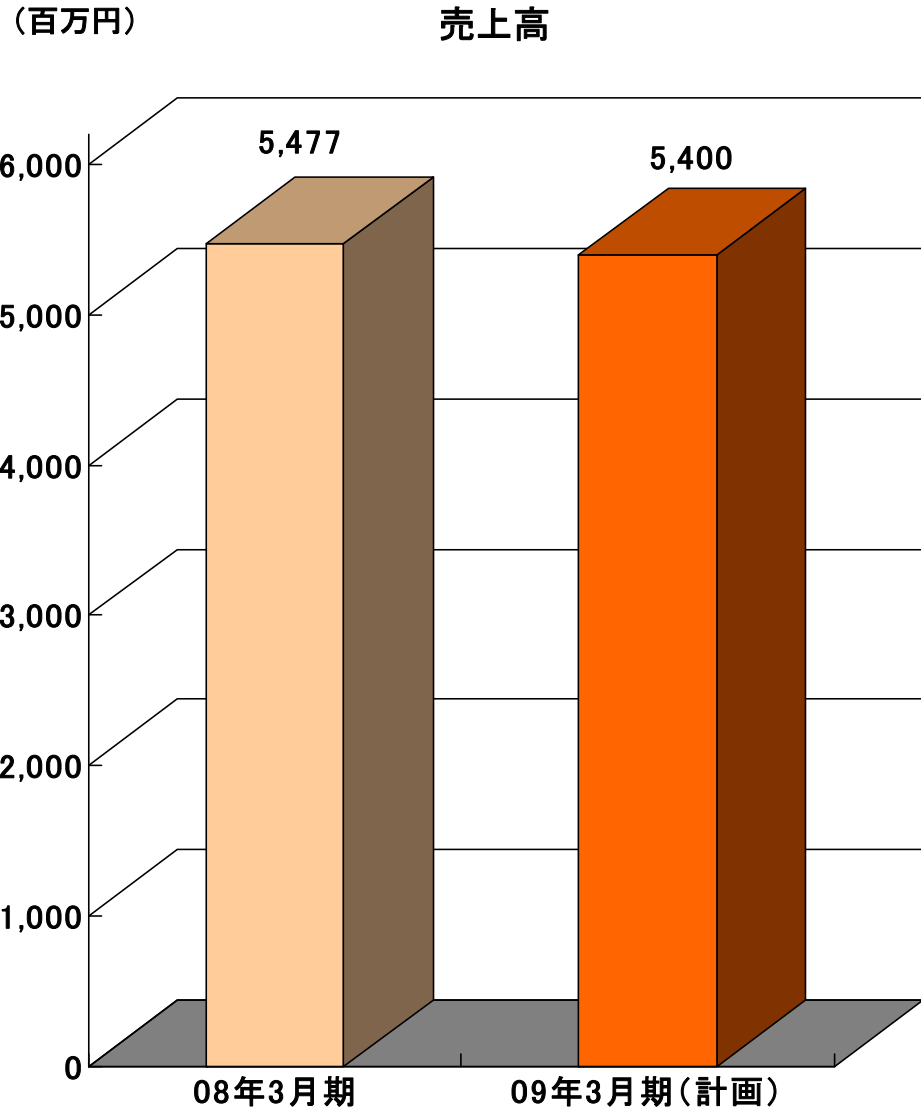
CAST-MR4

JR2303NERT

CAST-CR3

JR2403NERT

## 産業機器事業の業績計画



## 24時間風呂の施策

- 8月に市場投入した24時間風呂の新機種により、既に当該製品の有用性を認識している既存顧客向け買換え需要の喚起と新規開拓を図る。
- 老健施設向け等業務用24時間風呂の拡販。



『湯名人スーパーCT』



業務用24時間風呂導入例



# 蛇の目マシン工業株式会社